

## 01 不登校の児童生徒全ての学びの場の確保

### 1. 校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）の設置

#### （1）【新】<サポートルーム整備> 必要な備品整備等（パーテーション、テーブル、いす等）

- 校内で児童生徒が落ち着いて学習、生活できる環境の整備

#### （2）【拡充】<スペシャルサポートスタッフ（仮称）の配置>

- 中学校子どものサポーターの配置時間拡充（1人当たり360h：1回4h×年間90回 ※週2,3回 ⇒ 420h：1回4h×年間105回 ※週3回）  
（現在：全中学校配置）
- 小学校子どものこころの支援員の配置拡充（1人当たり210h：1回3h×年間70回 ※週2回 ⇒ 420h：1回4h×年間105回 ※週3回）  
（現在：小学校4校に配置）

### 2. 教育支援センター「あすなる教室」のアウトリーチ機能など、総合的拠点機能の強化

#### （1）【新】<相談機能の充実> 1人1台端末を活用したオンライン相談窓口の整備と周知

#### （2）【新】<アウトリーチ支援> 不登校対策・支援専任SSWの配置

- 三田市あすなる教室への専任SSWの配置と各学校との連携

### 3. メタバース空間を活用した「あすなるe-school」による支援の充実

- 【拡充】<メタバース空間による支援> 大阪教育大学と連携したAIチャットによる支援アプリ事業

## 02 心の小さなSOSの早期発見

### 1. 【新】アプリ等による「心の健康観察」の推進※ 1人1台端末の活用

### 2. 【新】学校の風土の「見える化」支援事業

- 学校風土の把握ツール導入に向けた学校支援

### 3. 【継続】「ひょうごっ子SNS悩み相談」の1人1台端末での利用促進

### 4. 【拡充】スクールカウンセラー（SC）による相談

- 不登校支援を必要とする小学校にSCを配置

### 5. 【継続】不登校を生まない支援事業

- 心とからだの自立に向けた相談会講師謝礼

## 03 情報提供の強化

### 1. 【新】教育支援センター「あすなる教室」HPの作成と、相談機関等の情報発信を充実

### 2. 【新】不登校児童生徒の保護者に向け、「不登校相談パンフレット」を作成し、保護者や教職員に支援に活用できる教育・相談機関等を情報をまとめ、情報提供を行う。

### 3. 【継続】「三田市不登校等に関する支援の在り方検討委員会」による提言や調査報告など、不登校に関する最新の情報や、三田市における不登校状況と分析結果の公表